

# 環境活動レポート 第1版

Eco Action 21

期間：平成21年10月1日～平成21年12月31日

作成日：平成22年1月18日

 株式会社長谷虎リネンサービス

## 目次

1 .	事業活動の概要	・・・ page.1
2 .	大阪営業所地図	・・・ page.2
3 .	環境管理体制図	・・・ page.3
4 .	環境方針	・・・ page.4
5 .	環境目標	・・・ page.5
6 .	環境活動計画と主な取組み内容	・・・ page.6
7 .	環境活動実績	・・・ page.8
8 .	代表者による全体の評価と見直し記録	・・・ page.14
9 .	今後の取組みについて	・・・ page.15
10 .	環境法規の遵守状況と関連事項	・・・ page.16

## 事業活動の概要

経営理念 「三方善し」の精神を経営の根本理念とする。

事業経営の根底に流れる精神は人々の幸福を常に考えつつ、相手も良し、自分も良し、また第三者たる国家社会の利益と安心・幸福をはかるという「三方善し」の道徳的理念を根本とする。

### 会社概要

#### (1) 事業所名および代表者

- ・ 事業所名 株式会社長谷虎リネンサービス
- ・ 代表者名 代表取締役社長 長谷和治

#### (2) 所在地

- ・ 本社 〒501-6236  
岐阜県羽島市江吉良町197-1  
TEL:058-392-2121 FAX:058-392-2126  
(登記上のみ)
- ・ 大阪営業所 〒541-0043  
(44m<sup>2</sup>) 大阪府中央区高麗橋4-6-15  
TEL:06-6204-4132 FAX:06-6204-4140  
(本社機能を含む)
- ・ 環境管理責任者 山口敏之  
E-mail: hls-osk@hasetora.co.jp  
(住所、電話番号は大阪営業所に同じ)

#### (3) 事業活動の内容

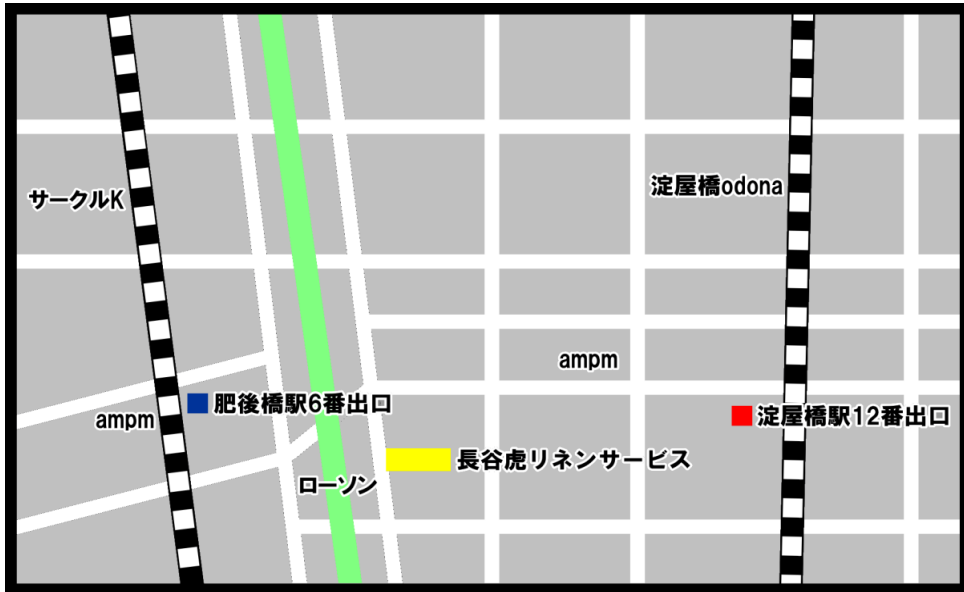
- ・ 繊維製品及び繊維原料並びに原糸の企画販売
- ・ 布帛製品、メリヤス製品の企画販売

#### (4) 事業の規模

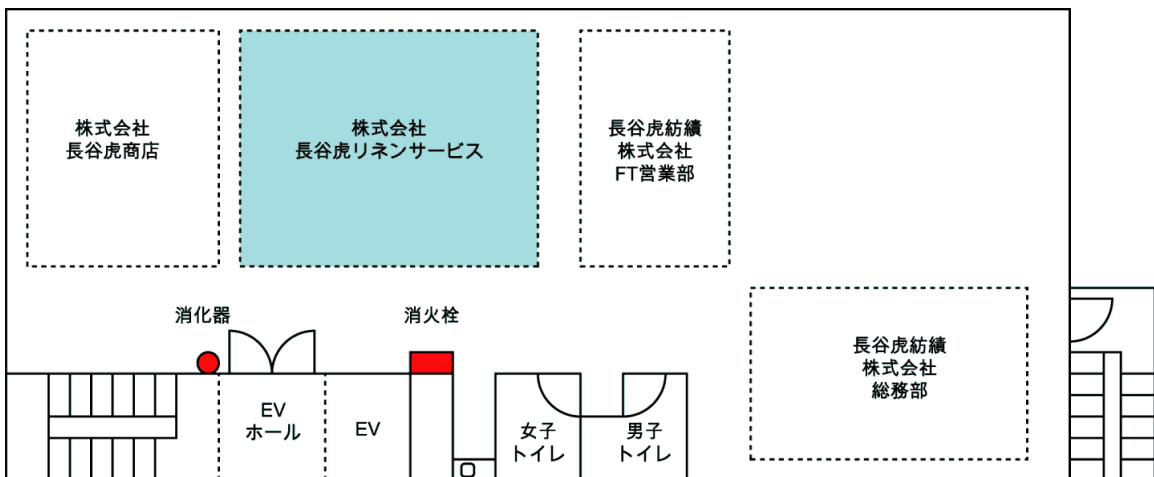
- ・ 設立 昭和30年10月
- ・ 資本金 7600万円
- ・ 従業員数 9名 (平成21年9月現在、大阪営業所在籍)
- ・ 年間売上高 20.5億円 (平成20年度実績)  
\*年度とは前年10月～当年9月の期間(当社会計年度)

## 大阪営業所地図

大阪市営地下鉄御堂筋線【淀屋橋駅】12番出口より徒歩5分  
 大阪市営地下鉄四ツ橋線【肥後橋駅】6番出口より徒歩5分



## 大阪営業所内図面



・入居ビル: 長谷虎ビル

1～3F 長谷虎グループ入居

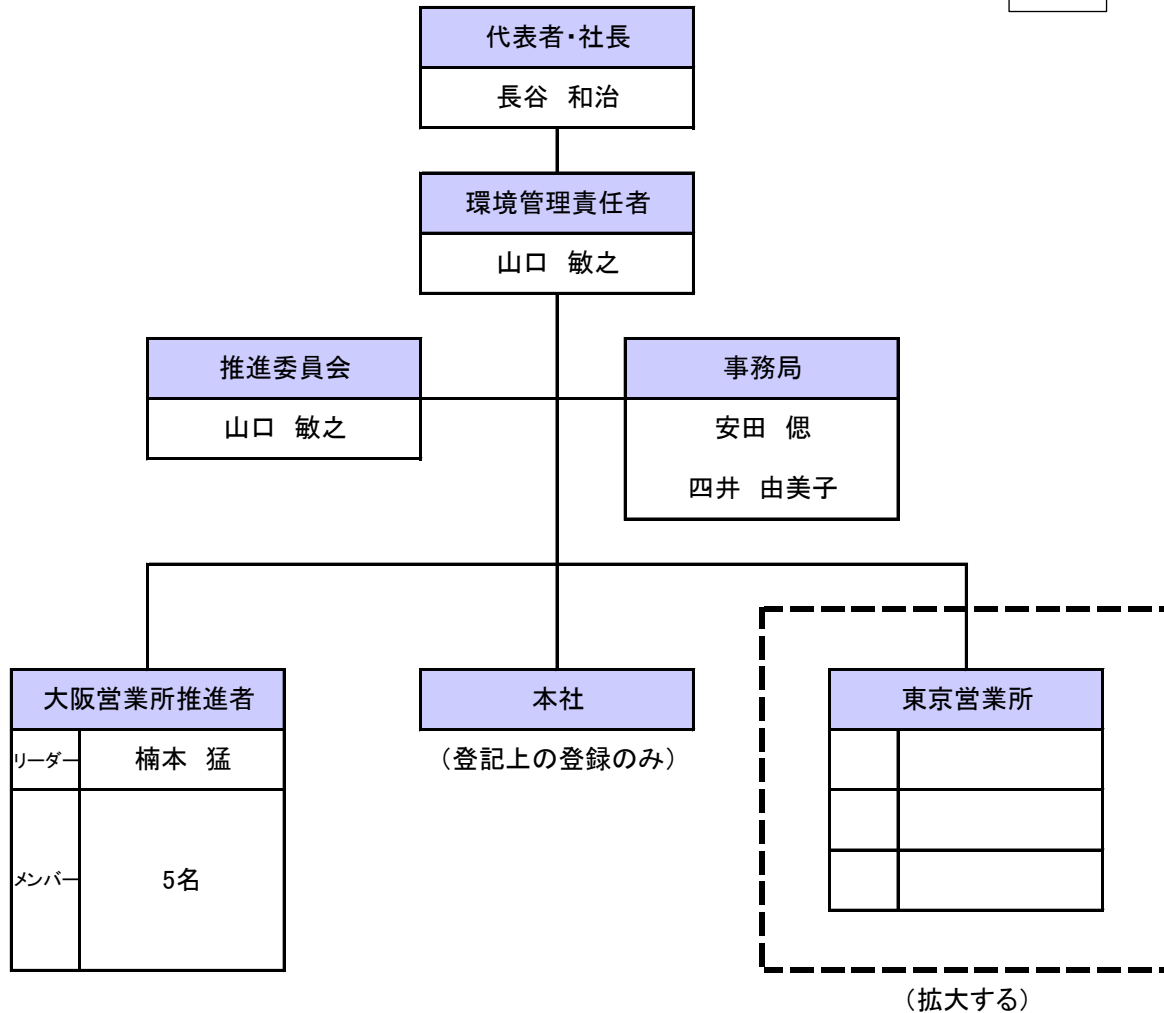
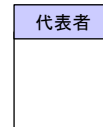
(長谷虎リネンサービス大阪営業所は2Fの一部を使用)

4～7F テナント入居

・電気使用量(各階にメーター有)及び水使用量(ビルに一つのメーターのみ)については長谷虎リネンサービスのみの計量は出来ず、入居人員による案分で計量している。

・環境活動については関連の長谷虎グループに協力を要請し、同歩調で活動を促進する。

# 環境管理体制図



役職	役割・責任・権限
代表者	環境管理システムの総責任者
	環境方針を定める
	環境管理責任者を任命
	資源(人員・設備・費用)の準備
	全体の取組状況の評価と見直し
環境管理責任者	教育の実施
	実施状況の確認
	環境活動の取組結果を代表者に報告
	環境管理レポートの確認
事務局担当者	文書の作成管理
	システム運用上の事務管理
	環境活動計画実施の実績集計
	環境管理レポートの作成
推進リーダー	環境目標達成するための活動の推進、提案
全従業員	決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

## 環境方針

### 基本理念

当社の理想を実現する為に地球環境との共生を図り、自然と生命を大切にする。

(わが社の理想 自他の品性を完成し、相互の幸福を増進し、世界の文化に増益し、現世に天国楽土を来たす)

### 環境方針

株式会社長谷虎リネンサービスは地球環境の保全が人類共通の最重要課題であることを認識し、事業活動のあらゆる分野で商品を通して環境に配慮した行動により、組織を挙げて環境負荷の低減に努める。

1. 環境関連の法規制および協定などの遵守をします。
2. 環境負荷の低減を致します。
  - ・ 電力使用量の削減をする。
  - ・ 化石燃料使用量の削減をする。
  - ・ 水使用量の削減をする。
  - ・ 廃棄物の削減をする。
3. 環境対応商品の開発販売を促進する。
4. 全社員が当社の環境方針に沿って**考働**するため教育指導を行い、周知徹底をはかり継続的に活動をすすめる。

制定 平成21年9月5日  
代表取締役社長 長谷和治

## 環境目標

### 1 基準数値の設定

	平成21年度実績
電気使用量	24,721 kWh
化石燃料(ガソリン)使用量	862 L
廃棄物量	239 kg
紙資源(OA用紙)投入量	153 kg
水使用量	84 m <sup>3</sup>
環境対応商品の取組件数	1 品種

### 2 環境目標の設定

	単位	基準数値	平成22年度	平成23年度	平成24年度
電気使用量	kWh	24,721	24,227	23,979	23,732
4%			2%	3%	4%
化石燃料(ガソリン)使用量	L	862	819	802	776
10%			5%	7%	10%
廃棄物	kg	239	234	229	225
6%			2%	4%	6%
紙資源(OA用紙)投入量	kg	153	150	147	144
6%			2%	4%	6%
水使用量	m <sup>3</sup>	84	83	82	81
3%			1%	2%	3%
環境対応商品販売促進	品種	1品種	調査・提案	1品種	2品種
2品種					

\*年度とは前年10月～当年9月の期間(当社会計年度)

## 環境活動計画・主な取組内容

				平成22年度			
				10月	11月	12月	
電気使用量の削減	月次計画値	24227	2%	kWh	1,838	1,372	1,606
	月次累積計画値				1,838	3,210	4,816
	取組内容						
	毎月の電気使用量の把握				○	○	○
	空調温度監理(冷房28度、暖房20度)				○	○	○
	照明・空調場所の管理(必要場所のみの使用)				○	○	○
	残業時間の短縮・定時帰社日の設定				○	○	○
廃棄物排出量の削減	月次計画値	234	2%	kg	19.5	19.5	19.5
	月次累積計画値				19.5	39.0	58.5
	取組内容						
	毎月の廃棄物排出量の把握				○	○	○
	廃棄物の分別の徹底				○	○	○
廃棄物の再生利用処理の向上				○	○	○	
ガソリン使用量の削減	月次計画値	819	5%	L	91.0	48.0	89.0
	月次累積計画値				91.0	139.0	228.0
	取組内容						
	毎月のガソリン使用量の把握				○	○	○
	エコドライブの徹底				○	○	○



				平成22年度			
				10月	11月	12月	
水 使 用 量 の 削 減	月次計画値	83	1%	m <sup>3</sup>	6	7	7
	月次累積計画値				6	13	20
	取組内容						
	毎月の水使用量の把握				○	○	○
	節水の徹底(呼びかけ、節水シールの表示etc)				○	○	○
紙 資 源 投 入 量 の 削 減	月次計画値	150	2%	kg	12.6	12.6	13.8
	月次累積計画値				12.6	25.2	39.0
	取組内容						
	毎月の紙使用量の把握				○	○	○
	両面コピー、裏紙利用の促進				○	○	○
ペーパーレス化の促進				○	○	○	
環 境 対 応 商 品 の 開 発	取組内容						
	情報収集		計画		→		
	商品開発		計画				
	開発商品の提案		計画				
	開発商品の提案販売		計画				

## 環境活動実績

項目	平成22年度	単位kWh			結果
		10月	11月	12月	
電気使用量の削減	目標値	1,838.0	1,372.0	1,606.0	○
	実績	1,741.0	1,318.0	1,339.0	目標比
	累計目標	1,838.0	3,210.0	4,816.0	9%
	累計実績	1,741.0	3,059.0	4,398.0	Down
環境管理責任者の評価					
<p>節電シール等の表示  事務所未使用時の電気消灯の徹底  空調の温度設定、必要時のみの使用徹底  節電について呼びかけ啓蒙を進めた結果一応の成果を得た。引き続き全員の意識向上をはかり、節電が当たり前というレベルまですすめたい。</p>					



項目	平成22年度	単位kg			結果
		10月	11月	12月	
廃棄物排出量の削減	目標値	19.5	19.5	19.5	○
	実績	15.9	11.4	16.5	目標比
	累計目標	19.5	39.0	58.5	25%
	累計実績	15.9	27.3	43.8	Down
	<p>環境管理責任者の評価</p> <p>廃棄物の分別の徹底            分別による再生利用処理の向上            分別をすすめたことと、裏紙の再使用を徹底して呼びかけ、実施したことが大きく寄与し、廃棄量を減らすことができた。</p>				



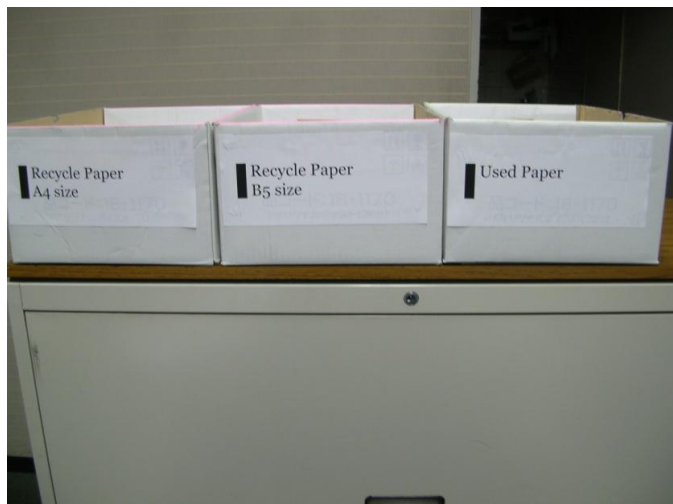
項目	平成22年度	単位L			結果
		10月	11月	12月	
ガソリン 使用量 の 削減	目標値	91.0	48.0	89.0	○
	実績	81.1	41.4	49.3	目標比
	累計目標	91.0	139.0	228.0	25%
	累計実績	81.1	122.5	171.8	Down
<p>環境管理責任者の評価</p> <p>毎月のガソリン使用量の把握 エコドライブの徹底 代替交通手段の活用によって使用量を削減できた。今後もこれらを徹底し、ガソリンの使用量削減に努める。</p>					



項目	平成22年度	単位m <sup>3</sup>			結果
		10月	11月	12月	
水 使 用 量 の 削 減	目標値	6.0	7.0	7.0	○
	実績	7.0	7.0	6.0	目標比
	累計目標	6.0	13.0	20.0	0%
	累計実績	7.0	14.0	20.0	Down
環境管理責任者の評価					
<p>節水シールの表示  水の使用については、トイレと飲料水が主であり、削減が難しい状況である。  全員、少しでも減らせるように意識改革を行っていく。</p>					



項目	平成22年度	単位kg			結果
		10月	11月	12月	
紙資源投入量の削減	目標値	12.6	12.6	13.8	○
	実績	7.3	5.5	6.0	目標比
	累計目標	12.6	25.2	39.0	52%
	累計実績	7.3	12.8	18.8	Down
	環境管理責任者の評価				
両面コピー、裏紙使用の徹底により大幅に削減できた。 引き続き、習慣となるようにしていく。					



項目	平成22年度				結果
		10月	11月	12月	
環境対応商品の開発	目標値	情報収集	情報収集	情報収集	○
	実績	製品耐久性	繊維リサイクル	未利用繊維	
	累計目標				
	累計実績	○	○	○	
	環境管理責任者の評価  以下の情報を集めた。今後の商品開発につなげていく。 ①製品寿命の改善によって少ない製造量・エネルギーで済ませられないか模索中である。 ②原材料ナイロン66の再利用について。 ③国内外の未利用繊維の生産状況について。				

代表者

## 代表者による全体の評価と見直し記録

インプット(代表者の指示事項は代表者が記入する)

レビュー項目		レビュー報告事項	代表者の指示事項
1	法的要求 遵守の評価の結果	法関連遵守チェックの結果(添付資料)	年2回評価のこと
2	苦情を含む外部の利用者からのコミュニケーション	環境関連情報シートの記録(活動期間中には無かった)	外部情報はモレの無いこと
3	当社の環境パフォーマンス	環境活動実施計画の結果(添付資料)	
4	目標を達成している程度	活動期間の達成度(添付資料)	活動開始後、間の無い結果としては納得のいく範囲、引き続き実施のこと
5			
6			
7			
8			
9			

アウトプット(すべての項目を代表者が記入する)

環境方針	無し
変更の必要性	
環境目標	無し
変更の必要性	
環境活動計画及び環境経営	無し
システム変更の必要性	
総合的な指示事項	
3ヶ月間の実施把握であり、十分とはいえないが、結果は認められる。今後は日常的に環境への対応をすすめられるようにすること。	



## 今後の取組みについて

活動の経過において一番の効果は人員の少ないことありますが、全員が一致して目標に取り組んでくれたこと、そこから生まれた環境についての意識の向上が感じられることです。まだまだ問題点や改善すべき事は多々ありますが、今後も意識を低下することなく、全員で継続し永続的にすすめてまいります。

- ・ 3ヶ月間の実績把握であり、十分な結果とはいえないがある程度の効果は認められ、仕組が有効に機能していると思われる。
- ・ 全員の環境に対する意識が向上しお互いの行動が変わりつつあり、環境への活動が活発化した。
- ・ 環境負荷や環境関連法規等の理解が向上した。
- ・ 今後は全員の環境に対する意識の差をなくすべくさらに啓蒙をすすめ日常的に環境への対応が出来るようにすすめる。

以上

平成22年1月15日

代表取締役社長 長谷和治

## 環境法規の遵守状況と関連事項

使用済自動車の再資源化等に関する法律

大阪府生活環境の保全等に関する条例

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

資源の有効な利用の促進に関する法律

当社において、上記環境関連法規の遵守状況をチェックした結果、環境関連法規の違反はありません。

また、各関係機関からの違反、訴訟の指摘、外部からの訴訟及び苦情等も過去3年間ありません。